

2022年度9条世界宗教者会議動画作成報告

9条世界宗教者会議は2007年から約2年毎に日本国憲法9条の意義を世界にアピールするために国際会議を開催してきました。コロナ禍と環境危機、グローバリズムとナショナリズムがせめぎあう中での多元的な諸文化の葛藤、ウクライナ戦争による核戦争の危機という状況を俯瞰し、すべての宗教は戦力を保持しない平和を希求して止まないとの共通の確信に基づいて日本国憲法9条のみを主題として当会議は今日まで継続されました。

2022年は第8回会議を開催する年でしたが、コロナ禍の中で国際会議開催は困難であるため動画を作成することといたしました。5名の発題者の発題動画（約30分）、第7回までの当会議と発題の紹介動画（約10分）、短編（約3分）の3本の動画をそれぞれ日本語と英語で作成し、6本の動画をNCC（日本キリスト教協議会）チャンネルから2022年8月と9月にYouTubeにアップロードしました。

https://www.youtube.com/channel/UCkhVW0n4exKmivhkvdXN_wQ

各動画の概要は下記の通りです。

憲法9条と非暴力：9条をグローバルの行動へ（約30分）9月28日アップロード

- ・マリー・デニス 国際パックス・クリスティ 上級アドバイザー

現在のウクライナ戦争は、それ自体が破滅的であるだけでなく、すでに新たな軍拡戦争に拍車をかけ、核兵器廃絶の可能性を大きく低下させしめているのです。日本の経験は人類が非暴力へのパラダイムシフトを達成するためにこれまで以上に必要であり、9条の力強い意図と感動的な成果が失われてはなりません。

- ・イ・キホ 韓神大学教授

憲法9条が21世紀国家の新しいDNAに確実に位置づけられる時、戦争が可能な国家でなく、平和が可能な国家、平和を守りながら広げる国家を創ることができると思います。

- ・小野文洸 僧侶 日蓮宗

ウクライナ戦争を契機に、世界情勢が大きく変わろうとしています。それに対応するために。もうすこし小回りの利く活動団体を立ち上げ、現地の平和団体と連携し、情報を共有し、宗教者としての平和の対策を世界に発信するような動きを早急に検討すべきではないでしょうか。

- ・釈 海楽（しゃく からく）沖縄の宗教者 僧侶 浄土真宗

私が思う平和というのは、自然に死ぬことです。自然に死ねば自然に生まれる。自然に死ぬということは避けられない死によって死ぬということです。交通事故やあらゆる人災、自殺、死刑、そして戦争、こんなことで絶対死んではいけない。こんなことは起こらない世界、すべての人が自分の望む場所で自然が決めた寿命のうちでゆったりといのちを閉じていけること。これが平和ということだと思っています。

・パティ・タルボット カナダ合同教会 グローバルパートナーシップ チームリーダー
私たちは日本、東北アジア、さらに世界中のパートナーの皆様と共に正義のともなう平和を求めて声をあげてきました。私たちは神の平和のビジョンに触発されています。すなわち安寧と調和、人類を自然界の正しい関係のあるところに恐れはありません。あらゆる国家、文化、民族、地球で全宇宙で生きるすべての者たちを含むビジョンといえます。私は平和の探求はエキュメニズムの根幹にあるべきと考えます。

今こそ憲法9条を世界へ（約10分）8月27日アップロード

吉高叶 NCC 議長が冒頭のあいさつとして、平和を実現するために、まず武器を手放し対話を、と憲法9条に連なる宗教者のあり方を説きます。

当会議の意義の説明、第1回から第7回までの声明の要約、上記5名の発題要旨、最後に日本基督教団竜ヶ崎教会員による「川のように」の合唱で締めくくられています。

憲法9条と世界の平和（約3分）8月27日アップロード

当会議の概要説明動画です。ウクライナ侵攻、沖縄の状況、日本の軍事費は世界5位から3位になろうとしている現実。岸田政権下での改憲の可能性。2014年にWCC（世界教会協議会）が7年間に行動計画に日本国憲法9条の再解釈問題を取り上げ、WCC副議長が菅官房長官（当時）を訪問したことなどが紹介され、今こそ憲法9条を守り抜く行動として世界に訴える決意を表明しています。

2023年1月19日現在のYouTube視聴回数は以下の通りです。アップロードして4か月になりますが、一週間に4～500回の視聴が続いています。

憲法9条と非暴力：9条をグローバルの行動へ

日本語 1163回

英語 1148回

今こそ憲法9条を世界へ

日本語 1519回

英語 1518回

憲法9条と世界の平和

日本語 1585回

英語 1577回

合計 8510回

YouTubeからダウンロードして集会や礼拝等で使用したという報告がありますので、視聴実数は多少多くなるものと推量されます。

今回も貴財団から寛大なご配慮による多大な支援により、本格的な憲法9条動画を二か国語での作成を実現でき感謝に堪えません。関係者一同、心から感謝申し上げます。